

教室と栄養講話による効果について、中路先生からお話を聞きした時に、全市的に広めていきたいと思い2つの取組みを始めました。

1つ目は、健康教養の向上と人材育成です。中路先生に寄付講座「地域健康増進学講座」を開設していただき、人材育成を行い、マスメディアや小中学校を通じて健康知識の重要性について普及啓発していただきました。その最中、平成25年に改めて明らかになつた「短命県全国一位」という衝撃的なニュースは、より覚悟を決めるきっかけとなりました。ミニフェストに「健康増進」を謳つていたので改めて実感を持ち、この大きな課題に正面から切り込んでいかなければならぬだと思ったのです。

「ベーションプログラム」いわゆるC-O-I (center of innovation) の認知症や生活習慣病の予防法の開発等に活用されています。この研究成果が健康寿命の延伸につながるように、大いに期待しているところです。そして、参加されている全国の大手企業と弘前市の地元企業が連携することによって、新たな医療業が弘前市で生まれることを期待しています。当市の強みである弘前大学医学部と、発達した部品産業や精密産業などを上手くマッチングとコーディネートをさせながら、精密医療産業を伸ばすことも考えています。



これまで以上に弘前大学との協力関係を緊密にしていきたいと考えております。

たく、その役割を担つた市民の方々です。4年目となる平成27年度までに131名のリーダーが認定され、平成27年度だけでも500回以上の健康教室が開かれ、延べ2000人のリーダーが活動しました。今まで13000人もの市民が健康づくりに参加してくれたのは大きな成果です。今年度もリーダー養成講座を行うので、ぜひ多くの市民の方に受講していただき、先輩たちとともに弘前市民の健康づくりを引っ張っていただきたいとthoughtっています。

で負担し、岩木健康増進プロ
ジェクトとは別の仕立てで行つ
ています。平成27年度までに成
果が出始め、行政と地域住民
と健幸増進リーダーが協力し

こちらは、年間延べ462人の地域住民が参加しています。健康づくりには、市民一人ひとりの健康への関心、意識を高めて、実践につなげることが必要ですが、そのためには、個人の健康を支える専門家や地区組織の力が必要です。そこで弘前市では、平成27年度から地域で健康づくりのサポートをしていただき、「健康づくりサポートセンター」を各町会から推薦しています。ただ、現在約352名のサポート者が、がん検診の受診勧奨、健康教室開催のサポートなどの健康増進活動を行っています。健康づくりサポート、健幸増進リーダーのほか、食の案内役である食生活改善推進

ある保健衛生委員など、地域の健康づくりを支える人たちの裾野を広げて、一体となつて地域の健康づくりに取り組んでいきたいと考えています。

川口アナウンサー

川口アナウンサーこれまでの取組みは、弘前市にとってどのような効果があると期待され



葛西市長 私どもが行つてはいる岩木健康増進プロジェクトでは、毎年約800～1000人程の市民が健康調査に参加しています。12年間の取り組みの中で蓄積された膨大なデータ　ビッグデータは、弘前大学が1つの拠点として採択されてい

に取り組み、行政だけではなく、大学や企業、市民が一体となつた「オール弘前」で、健康・医療産業の集積に向けた戦略を策定して、着実に前に進めていきたいと思います。そのために、私はその先頭に立つて舵取りを進めていきたい所存です。

A portrait photograph of Katsuji Kuroki, a man with grey hair and glasses, wearing a suit and tie, smiling at the camera.

「ベース・ション・プログラム」いわゆるCOI (center of innovation) の認知症や生活習慣病の予防法の開発等に活用されています。この研究成果が健康寿命の延伸につながるように、大いに期待しているところです。そして、参加されている全国の大手企業と弘前市の地元企業が連携することによって、新たな医療健康産業が弘前市で生まれることを期待しています。当市の強みである弘前大学医学部と、発達した部品産業や精密産業などを上手くマッチングとコーディネートをさせながら、精密医療産業を伸ばすことも考えております。

今年から始まった「いきいき健診」も、弘前市を含めた全国8地域の高齢者の健康調査のデータから、認知症をはじめとする疾患の予防法、地域ごとの特徴などが解析されるので、弘前市における健康寿命の延伸に向けた対策にも大きく寄与すると考えております。

インタビュー



● 川口 浩一 ●
青森テレビアナウンサー。
担当番組は『川口浩一と
木村隆次のいきいき健やかTV』
(日曜日6:15~6:30)など。

弘前大学医学部教授



●中路重之●
1951年生、現在65歳。
1979年弘前大学医学部
卒業。弘前大学医学部
社会医学講座教授。